

# 表彰企業のご紹介

五十音順

企業名	概要
株式会社オブティム 代表取締役社長 菅谷 俊二 所在地：佐賀市与賀町 資本金：4億1135万6千円 創 業：平成12年6月	<p>菅谷社長が佐賀大学の学生時であった平成12年に起業。インターネットを電気・ガス・水道に次ぐ第4のインフラにしようと、「ネットを空気に変える」をスローガンとしている。</p> <p>菅谷社長は情報通信分野における「特許資産個人ランキング日本人1位」、会社としては「IOT分野国内特許総合ランキング第3位」。その豊富な特許を駆使してタブレット向けトータルサービス「タブレット使い放題」、ドローン対応ビッグデータ解析プラットフォーム「SkySight」など世界初の商品を発表。</p> <p>また、2015年8月27日には、佐賀県生産振興部、佐賀大学農学部、オブティムの3者で、農業IT分野において産学官連携協定を締結。「楽しく、格好良く、稼げる農業」をスローガンに、ドローンやIoT・ウェアラブル端末等の遠隔制御技術や、ビッグデータを活用した先進的な農業ITの取り組みを県内で推進している。平成26年に東証マザーズ市場への上場、本年10月には東証市場第一部への市場変更を行ったベンチャー企業。</p>
株式会社唐津鐵工所 代表取締役社長 竹尾 啓助 所在地：唐津市二太子 資本金：1億円 創 業：明治42年4月	<p>明治の創業期に炭鉱用機械製造に次いで、本格的な工作機械製造に着手。戦前は戦艦武蔵、大和の巨砲用の超大型砲身中ぐり盤の製造も行う。創業以来100年以上にわたり、工作機械一筋に製作し“karats”のブランドで知られる。現在は、大型・超大型の横軸の旋盤、研削盤と歯車加工機械を製作。</p> <p>顧客にあって喜んでいただき、満足される機械を提供するため、性能・精度・使い勝手の全ての面で要求に100%近づける努力を惜しまない“こだわりのものづくり精神”のもと、今後はさらに HIGH PRECISION（高精度）をキーワードに、サブミクロン単位の精度を追求し、工作機械に求める顧客の夢の実現へ向けて努力を重ねる。</p>
熊本電気工業株式会社 代表取締役社長 熊本 元信 所在地：神崎市神崎町尾崎 資本金：1000万円 創 業：昭和46年10月	<p>昭和46年に電気工事会社として創業。電気工事照明施設工事を手掛けていく中で、省エネに対する意識の高まりや省エネ照明製品の要望を受け、平成18年「高反射リフレクター シャインブライト」を発売。以降、シャインブライトシリーズとして省エネ照明製品を次々と送り出し、平成23年度には「シャインブライト」SBH-401K他3型式が、省エネ大賞（省エネルギーセンター会長賞）を受賞。平成21年12月18日に特許取得（特許No.4426625）。</p> <p>平成26年には、電極を持たない、高演色、長寿命、省電力ランプである「シャインブライト無電極」を販売。現在は「シャインブライトLED」を開発中。常に未来の省エネを考え、新しい商品を企画・提案している。</p>
小糸九州株式会社 代表取締役社長 小石原 宏 所在地：佐賀市久保泉町上和泉 資本金：30億円 創 業：平成17年11月	<p>自動車産業を照明機器分野で100年にわたって支える小糸製作所の九州生産拠点として、平成17年に創業。「着想と断行」の社是のもと、高品質・高効率なランプづくりに取り組み、北部九州を中心に西日本の自動車工場に製品を供給。</p> <p>企業スローガンは、「世界を照らす 新たな挑戦」。小糸グループは、日本、北米、欧州、中国及びアジアの五極で自動車用照明機器を生産するグローバルサプライヤーとして、全世界で20%、国内で50%の製品を提供。LEDヘッドランプの実用化に世界で初めて成功するなど、環境に配慮した新技術や新製品の開発にも積極的に取り組む。</p>

# 表彰企業のご紹介

五十音順

企業名	概要
<p>株式会社佐賀鉄工所</p> <p>代表取締役社長 坂田 潤一</p> <p>所在地：佐賀市神園</p> <p>資本金：3億1000万円</p> <p>創 業：昭和13年11月</p>	<p>昭和13年に創業、今年で77年を迎える。昭和20年代後半から高品質・高機能のボルトの提供に特化。製造するボルトは1万種類以上で、素材（線材）の加工から、成型、ねじ転造、熱処理、表面処理まで、「完全一貫生産システム」により徹底した品質管理を行っている。また、国内外から高い評価を受け、自動車産業をはじめ、さまざまな産業分野で使用されている。</p> <p>特に主要部品の高強度ボルトは、自動車の心臓と言えるエンジン部分に使用される為、高い強度とミクロン単位の精密さが要求される。安全を支え続けるという役割と責任を担う機能部品を、「モノづくり」で応えている。</p>
<p>株式会社SUMCO</p> <p>取締役社長 橋本 眞幸</p> <p>所在地：伊万里市東山代町長浜 伊万里市山代町久原 杵島郡江北町</p> <p>資本金：1387億円</p> <p>創 業：平成11年7月</p>	<p>住友金属工業(株)（現 新日鐵住金(株)）と三菱マテリアル(株)及び三菱マテリアルシリコン(株)の共同出資により、300mm口径のシリコンウェーハ開発・製造を目的として平成11年に設立。平成14年に住友金属工業(株)のシリコン事業の営業譲渡とともに三菱マテリアルシリコン(株)と合併、現在に至る。</p> <p>半導体用シリコンウェーハの製造・販売を行う専業メーカーとして、九州事業所がその開発・製造の主要拠点となっている。シリコンウェーハは、とても繊細なものであり、開発・製造には高い技術やノウハウを必要とする。また、高品質のシリコンウェーハを作り出せる企業は世界でも限られており、国内外の半導体デバイスメーカーから厚い信頼を得ている。</p> <p>スマートフォン、パソコン、デジタル家電、自動車など、今や身の回りのさまざまなものに欠かせない半導体デバイスを支える基板材料として、当社の製品が使用されている。</p>
<p>田口電機工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 田口 英信</p> <p>所在地：三養基郡基山町小倉</p> <p>資本金：3000万円</p> <p>創 業：昭和27年7月</p>	<p>創業以来、自動車や半導体、電子部品メーカーを主たる顧客とし、ローテクからハイテク、ミクロからナノの世界まで『めっきのデパート』ともいえる50種以上のめっき加工や表面処理を高品質・高精度・短納期で行い、高い評価を受けている。</p> <p>また、パワー半導体基板へのめっきラインを新設し、ハイブリッドや電気自動車向けのパワーデバイスへのめっき加工に取り組んでいる。さらに、シンクロトロン光X線とめっき技術を使ったマイクロマシン・MEMS関連の超微細加工による部品開発にも取り組んでおり、今後は国内外の医療機器メーカーをターゲットに、手術器具や医療ロボットに向けて、マイクロパーツやマイクロマシンの製品化、市場化に取り組んでいる。</p>
<p>株式会社炭化</p> <p>代表取締役社長 入江 康雄</p> <p>所在地：佐賀市富士町古湯</p> <p>資本金：950万円</p> <p>創 業：平成24年3月</p>	<p>佐賀県の竹（竹炭）とお茶（嬉野茶）を主体に製造した青果物鮮度保持剤と、佐賀県の発明・特許である酸化チタンによる光触媒を活用した青果物鮮度保持システムを開発。これまでの鮮度保持剤と比較して、長期鮮度保持機能や価格に対する優位性が見込まれ、大手運輸会社との取引も一部開始。農業法人や宅配業者などからの引き合いも増えており、将来の市場規模増大と需要の成長が見込まれる。</p> <p>本年、九州ニュービジネス協議会のアントレプレナー（起業家）大賞、県のチャレンジカップ2015の最優秀賞を受賞。</p>

# 表彰企業のご紹介

五十音順

企業名	概要
<p>東亜工機株式会社</p> <p>代表取締役社長 光武 渉</p> <p>所在地：鹿島市大字山浦</p> <p>資本金：1億5600万円</p> <p>創業：昭和19年6月</p>	<p>艦船用の部品の製造を目的として設立。戦後、米国貸与船向エンジンの受注を得て船舶機関用部品の製造を開始。その後、船舶用エンジン部品のシリンダライナ専門メーカーへと特化。現在は、世界で「シリンダライナの東亜」として知られ、内径600mm以上の大型では国内・世界ともトップシェアを占める。近年は発電用向シリンダライナ、シリンダカバ製造にも力を入れている。</p> <p>その鑄造技術は高い評価を受けており、数多くの熟練技能者を抱える。平成23年11月には、社内に技能習得道場「錬磨」を設置し技能訓練開始。熟練技能の継承にも積極的に取り組んでいる。</p>
<p>株式会社中村電機製作所</p> <p>代表取締役社長 中村 直紀</p> <p>所在地：佐賀市高木瀬西</p> <p>資本金：8100万円</p> <p>創業：昭和21年11月</p>	<p>昭和21年に鉱山用電気機器の修理サービスを主事業として創業。鉱山用の防爆機器で業績を伸ばし、石炭産業衰退後は工場防爆に転換して発展。近年はIT機器や通信機器の防爆製品も開発し、防爆バーコードスキャナや防爆ハンディターミナルなどに加え、キーボードやマウスなどの周辺機器まで含めた防爆パソコンシステムを開発。新たに水素ステーション用に、耐圧防爆型紫外線炎検知機にもチャレンジし「防爆のナカムラ」と称されるまでに業界内で名が浸透。</p> <p>各国独自の防爆規格の認定についてはイタリアの防爆メーカーであるFEAM社と業務提携を結び対応。防爆技術を中心として、国内外へ石油・ガスを使用する基幹産業に人命の「安全」を進取する「グローバルニッチ企業」。</p>
<p>株式会社中山鉄工所</p> <p>代表取締役社長 中山 弘志</p> <p>所在地：武雄市朝日町甘久</p> <p>資本金：8650万円</p> <p>創業：明治41年6月</p>	<p>明治41年にガス発電機・精麦機の製作工場として創業。1世紀にわたり一貫して産業機械を製造。特に「破碎」「選別」技術のシステム化、ノウハウを開発、蓄積している。「長年蓄積された技術を他分野に転用することを厭わない」という姿勢は、以前は油圧駆動が当たり前であった自走式破碎機を、電気駆動へと変貌させ、燃費も破碎能力も格段に向上した電動自走式破碎選別機シリーズ『Dendoman』の誕生に大きく寄与。</p> <p>近年は太陽光発電や小水力発電事業を開始。また、国内外の大学との交流・共同研究を進め、創エネルギー技術の展開、画像解析やIoTを利用したプラントの無人運転化等、新たな創造にも取り組む。</p>
<p>株式会社名村造船所</p> <p>代表取締役社長 名村 建介</p> <p>所在地：伊万里市黒川町塩屋</p> <p>資本金：80億9700万円</p> <p>創業：明治44年</p> <p>経営理念：「存在感」</p>	<p>明治44年大阪で創業。昭和49年伊万里工場（現伊万里事業所）竣工。100年以上に渡り、ものづくりにかける思いは一筋に「お客様が真に求められるものを提供し続ける」こと。バルクキャリア、タンカー、ガス船など大型の商船を建造しており、国内における建造量第3位のグループ。</p> <p>また、橋梁・鉄鋼事業も行っており、県内では空港大橋（佐賀市）や松浦川大橋（唐津市）など多数の施工実績がある。</p> <p>専門性の高い技術と合わせて、省エネ・環境負荷低減などの新たな技術の開発で地球環境の保全に取り組み、グローバル社会の貢献に努めている。</p>

# 表彰企業のご紹介

五十音順

企業名	概要
<p>株式会社西村鐵工所</p> <p>代表取締役：西村 明浩 所在地：小城市牛津町柿樋瀬 資本金：2000万円 創 業：大正9年1月</p>	<p>大正9年に、精米所で使われるエンジンの製作で創業。常に新製品の方向性を模索し続ける開発型企業で、ポンプ、I-Bコンベヤの開発などを行い、昭和62年に完成したのが、産業廃液などを高熱の円盤に当てて蒸発させ、乾燥処理する「CD（コンパクト・ディスク）ドライヤー」。発売27年で400台以上を売るロングセラー。中核部品のみを輸出し、アフターサービスなどは現地企業に任せる戦略で海外展開も進めている。国内外で特許も取得しており、世界シェア100%。</p> <p>企業理念は「創造と挑戦」。可能性を信じ、未知の分野に独自の技術で果敢に挑戦する。</p>
<p>久光製薬株式会社</p> <p>代表取締役会長 最高経営責任者 中富 博隆 所在地：鳥栖市田代大官町 資本金：84億7300万円 創 業：弘化4年（1847年）</p>	<p>1847年の創業以来、鎮痛消炎貼付剤を中心とした医薬品の提供を通して人々の健康づくりに取り組み、日本における貼付剤のリーディングカンパニーへと成長。代表商品「サロンパス®/SALONPAS®」は、貼付剤の先駆けとして世界100カ国以上に商標登録され、現在では世界共通語に。「貼ることで患者様の苦痛を軽減しQOL（生活の質）の向上にお役に立ちたい」を胸に、鳥栖を含む国内外4か所の研究開発拠点で、貼って皮膚から薬を送りこむ経皮薬物送達システムに基づいた商品開発に力を注いでいる。近年ではブランド力の強化と知的財産保護にも積極的に取り組んでおり、CMで使っている「ヒサミツ」のメロディーとロゴの動きは日本で初めて新しいタイプの商標として登録された。</p> <p>創部65年を超える女子バレーボールチームは、久光製薬スプリングスとしてV・プレミアリーグに所属し、数々の栄誉に輝いている。</p>
<p>富久千代酒造有限会社</p> <p>代表取締役 飯盛 直喜 所在地：鹿島市浜町 資本金：1000万円 創 業：大正末期</p>	<p>地元小売店の若手後継者4人とともに勝ち残りをかけ、「佐賀・九州を代表する地酒」「地元の米と水で醸し出す愛される地酒」を目指してゼロからスタートし、平成10年に誕生させた「鍋島」。世界最大規模・最高権威と評価される「インターナショナル・ワイン・チャレンジ (IWC) 2011」で、「鍋島大吟醸」が日本酒部門の最優秀賞「チャンピオン・サケ」に選ばれる。</p> <p>また、受賞を契機に、平成23年に鹿島市内の酒蔵が中心となり、地域全体として「酒・酒蔵」をテーマとした地域振興に取り組もうと「鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会」が設立され、地域を上げた「鹿島酒蔵ツーリズム」がスタート。</p>
<p>株式会社ブルーム</p> <p>代表取締役 山崎 信二 所在地：唐津市浜玉町浜崎 資本金：1億9050万円 創 業：平成3年10月</p>	<p>平成13年4月の薬事法（現：医薬品医療機器等法）改正により全成分表示や化粧品基準等が規定され、企業責任のもと安全性を確認したうえでより多くの商材を扱えるようになり、海外からの化粧品等の輸入も増加した。</p> <p>それらの流れの中、化粧品成分分析を行う自社分析室を開設。平成16年1月には、民間企業では早い時期に「厚生労働省指定試験検査機関（現：登録試験検査機関）」の指定を受け、他社からの分析依頼を受注。専門的かつ煩雑な薬事法をクリアする輸入販売のトータルサービスを提供している。</p> <p>平成27年10月には、130年以上にわたってグローバルに品質管理/安全管理サービスを提供する仏・Intertek社との協業をリリース。今後、日欧間の化粧品の輸出入をよりスムーズにするためのインフラを構築していく。</p>

# 表彰企業のご紹介

五十音順

企業名	概要
株式会社百田陶園 代表取締役社長 百田 憲由 所在地：西松浦郡有田町赤坂 資本金：2000万円 創業：昭和47年11月	平成24年、デザイナー柳原照弘氏、ショルテン & バイイングスとともに新しい有田焼のブランド「1616 / arita japan」を立ち上げ、平成25年に世界的なデザイン賞「エル・デコ・インターナショナル・デザイン・アワード・2013」のテーブルウェア部門で世界一に輝く。 有田の伝統技術とデザインが出会い、新しいアプローチとしての有田焼が誕生した「1616/arita japan」プロジェクトから、海外のデザイナーとの協働を他の窯元、商社にも広げて、有田の町全体から新しい有田焼を世界に送りだそうとする「2016/」（佐賀県とオランダのコラボレーションによるプロジェクト）のアイデアが生まれた。
森鉄工株式会社 代表取締役社長 森 孝一 所在地：鹿島市大字井手 資本金：5000万円 創業：大正11年3月	肥料、農業機械の修理・販売等を経て、プレス専門メーカーへ。自社開発を進めた「ファインブランキングプレス」の第一号製品を昭和56年に納入。「ファインブランキングプレス」は、一度の打ち抜きで平滑な剪断面を実現し二次加工不要とするもの。更に「つぶし」「曲げ」等の三次元形状の複合成形も可能にするものであり、自動車業界を中心に納入が進み国内シェアトップ。また、アジア、欧州、米国等の海外へ輸出し世界シェアは3割を超える。 ものづくりの技術に対する高い評価に加え、きめ細かな顧客サービスを強みとしてリピート受注も多く、着実にシェアを拡大。
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 代表取締役 中石 真一路 所在地：神埼郡吉野ヶ里町立野 資本金：1億1100万円 創業：平成24年4月	日本の難聴者は推定1500万人。しかしながら、そのうちの補聴器使用率は僅か14.1%で欧米諸国に比べて2倍以上の開きがある。そこで、難聴者側ではなく「話者側でもできる支援はないか？」という視点に立ち、全く新しいコミュニケーションサポートシステムとして「COMUOON」を開発。2014年度グッドデザイン特別賞「グッドデザイン・ものづくりデザイン賞（中小企業庁長官賞）」を受賞。 また、代表自ら全国で自治体や障害者支援施設、企業を対象にした「聴こえのセミナー」を開催。2014年から全国の聾学校や難聴学級等17カ所にCOMUOONを寄贈する「きこえのあしながおじさん」プロジェクトを行うなど「心に響く音を奏で、人を癒す「ホンモノづくり）」を実践。
株式会社ワイビーエム 代表取締役社長 吉田 力雄 所在地：唐津市原 資本金：1億円 創業：昭和21年4月	唐津炭田の石炭調査用ボーリングマシン・ツールの修理、製造を業として昭和21年に創業。低騒音化や小型軽量化及びコンピュータ化を開発コンセプトとした環境適用型マシンの研究開発を進め、地盤改良機の製造では国内有数。製造した機械は、アメリカ、欧州、オセアニア、東南アジアや南極など海外でも活躍している。 また、高圧ジェットポンプの応用技術による水の殺菌及び浄化に効果を利用した様々な水の浄化システムや地中熱利用のエアコンシステムなど研究開発に積極的に取り組み、「しなもん魂ば込めよ」の精神で、明日の美しい地球環境づくりに貢献。